

## 水土文化研究部会の活動記録

### 研究会

第1回（平成16年3月18日）

「水土文化の地平を展望する」

- ・ 全国土地改良事業団体連合会：川尻裕一郎
- ・ 筑波大学：佐藤常雄
- ・ 国学院大学：小川直之

第2回（平成17年3月17日）

「水利遺構の再発見と利活用」

- ・ 東海地方における歴史的水利遺構の成立と存続条件（近畿農政局：原山昭彦）
- ・ 流れのシミュレーションによる水利遺構の評価-鼻ぐり井手を事例として-(農業工学研究所：浪平篤)
- ・ 水車はなぜ消えたのか？ - 佐賀県K町N地区の「美しいむらづくり」から -

第3回（平成18年2月24日）

「先人たちの（水土の知）-もの・ひと・ところ-」

- ・ 水土の知とは何か - 技術史の立場から - （農業工学研究所：松本精一）
- ・ 水土のひと・ところ（国学院大学：小川直之）
- ・ 水土の知はおもしろい（(株)オルタナティブコミュニケーションズ：金子照美）

第4回（平成19年2月8日）

「水土・持続のテクノロジー」

- ・ 水土持続の論理と倫理（東京工業大学：桑子敏雄）
- ・ ノマドという水土 - モンゴル高原から - （国立民俗学博物館：小長谷有紀）
- ・ 地球環境への水土の知の展望（総合地球環境学研究所：渡辺紹裕）

第5回(平成20年2月28日)

「水土・持続のテクノロジー」

- ・ バリ島の稲作文化と水利システム(早稲田大学:海老澤衷)
- ・ 骨寺遺跡保存と基盤整備との調整(岩手大学:広田純一)
- ・ 一の井堰の変遷と現況の維持管理((財)建設物価調査会:松本精一)

第6回(平成21年2月27日)

- ・ 建設会社の公益事業として、古技術・未来技術を探る((株)大林組:勝山聡美)
- ・ 歴史的農業水利施設を技術的な視点から考える(農村工学研究所:中達雄)
- ・ 通潤用水にみる水土文化としての水路システム(農村工学研究所:島武男)

第7回(平成22年2月26日)

- ・ 水土文化が凝集された歴史的デザインコード(宇都宮大名誉教授:藤本信義)
- ・ 産業遺産としての炭坑(専修大学北海道短期大学:小林明裕)
- ・ 農村風景の中の水利用(農村工学研究所:重岡徹)

第8回(平成23年3月1日)

「水利遺産の価値と今後への活かし方」

- ・ 近世以前の農業・土木遺産の全国調査にみる水利遺産の現状と価値判断(岡山大学教授:馬場俊介)
- ・ 古代水路「裂田の溝(うなで)」と近世「石井樋」の水利施設としての類似性(九州大学教授:島谷幸宏)

第9回(平成24年3月1日)

「取水堰の歴史的価値と評価」

- ・ 川の形と流れを見すえた堰のつくり方(岩手大学教授:三輪 弌)
- ・ 河川横断構造物のあり方を考える-川と人とのふれあいを再考する-(新潟大学名誉教授:大熊 孝)

第10回（平成25年2月25日）

「農村における水車の果たした役割と今後の展開」

- ・ 武蔵野台地南部の水車の用途の変遷（産業考古学会・水車と臼分科会代表：小坂克信）
- ・ 中国地方の小水力発電所60年の歴史に学ぶ（イームル工業（株）顧問：沖武宏）

第11回（平成26年2月27日）

「農業水利システムの果たした役割と今後の展開」

- ・ 北海道における農業水利システムの変遷について（（独）土木研究所寒地土木研究所：中村和正）
- ・ 農業水利システムの歴史とストックマネジメントとの関わり（（独）農研機構農村工学研究所：樽屋啓之）

第12回（平成27年2月27日）

「伝える～未来に向けて～」

- ・ 農業水利設計技術の伝え方－水 の分野から－（（独）農研機構農村工学研究所：中 達雄）
- ・ 農村地域資源の伝え方－里 の分野から－（（独）農研機構農村工学研究所：石田憲治）

第13回（平成28年2月26日）

「伝える 」

- ・ 水土の知 の伝承－黒楸の知、河童の知－（水土文化研究部会：広瀬 伸）
- ・ 高校生による地域の伝承文化研究－國學院大學の取り組み－（國學院大學：小川 直之）

第14回（平成29年3月2日）

「見つめる～過去から、今、これからを～」

- ・ 農村の暮らし、文化を育む景観とその伝え方（熊本大学政策創造研究教育センター：田中尚人）
- ・ 棚田景観を保全する通潤用水の変遷と役割（農研機構九州沖縄農業研究センタ：島 武男）

第15回(平成30年3月9日)

「水土の“こころ”」

- ・ 「“こころ”をつなぐ」(豊田土地改良区資料室長:達 志保)
- ・ 「“こころ”をはかる」(農研機構西日本農業研究センター:廣瀬 裕一)

第16回(平成31年2月27日)

じかた

「地方well-being!!」

- ・ 「地方 well-being」(京都大学大学院地球環境学堂教授:渡邊紹裕)
- ・ 土木遺産としてのため池,オーラル・ヒストリー,アーカイブ研究(筑波大学生命環境系研究員,法政大学兼任講師:堀川洋子)
- ・ 多様な主体が住み続けられる農村社会の構築(農林水産省農村振興局計画調整室長:石井克欣)
- ・ 農村資源の再評価の視点から(農研機構農村工学研究部門:後藤眞宏)

第17回(令和3年3月2日)

「水土のエコノミー」

- ・ EBPM(エビデンスに基づく政策立案)に向けた農業施策の経済評価 マクロ実証分析の立場から (農研機構農村工学研究部門:國光洋二)
- ・ データから因果を読む、その先にあるもの(NTC コンサルタンツ株式会社:中田摂子)

第18回(令和4年3月16日)

「ため池の利活用に関する 水土の知」

- ・ 「クヌギ林とため池がつなぐ農林水産循環」の意義と活用(国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会会長:林 浩昭)
- ・ 「比企丘陵の谷津沼(やつぬま)農業」(埼玉県滑川町役場産業振興課課長:服部進也)

## 学会企画セッション

平成17年度農業土木学会大会（平成17年8月25日）

「水土文化資源の多面的利活用 - 水土の記憶を活かす - 」

- ・ 水田漁撈の未来（国立歴史民俗博物館 安室 知）
- ・ 暮らしのキオクを生かす - 回想法・高齢者ケアの古くて新しいツール（師勝町歴史民俗資料館 市橋芳則）
- ・ 「記憶」のカタチ「記憶」のチカラ 農村振興の実践のために（農村工学研究所 山下祐作）

平成18年度農業土木学会大会（平成18年度8月9日）

「様々な水土の知 中国辺境地区農村に見る伝統と近代」

- ・ 海南島の2村落における生業の転換：政策、換金作物、観光開発の影響（東京大学大学院 梅崎昌裕）
- ・ 生業システムからみた水田利用の多様性 - 雲南国境地帯の棚田を事例として - （国立歴史民俗博物館 西谷 大）

平成19年度農業農村工学会大会（平成19年8月30日）

「文化的景観の諸相 - 歴史、心意、そして伝承 - 」

- ・ 歴史的文化遺産の景観復原 - 島根県を事例として - （島根大学 松杉力修）
- ・ 伝承という実践 - 記憶の喚起による心意の再生と景観保全 - （農村工学研究所 山下祐作）

平成20年度農業農村工学会大会（平成20年8月28日）

「水土文化研究、その回顧と展望」

- ・ 水土文化部会、その五年間の軌跡と内省（農村工学研究所 山下祐作）
- ・ 水土文化研究によってもたらされる農業農村工学技術者の変革（農村工学研究所 後藤真宏）

平成21年度農業農村工学会大会(平成21年8月4日)

「水土文化研究 - 村明細帳から見える農業土木」

- ・ 「村明細帳」に残された農業水利 (建設物価調査会 松本精一)
- ・ 江戸時代の農業水利の実態 (建設物価調査会 松本精一)
- ・ 村明細帳が伝える現代の農業水利 (農村工学研究所 後藤眞宏)

平成22年度農業農村工学会大会(平成22年9月1日)

「水車を用いたエネルギー利活用 - 伝統的かんがい利用からマイクロ水力利用まで - 」

- ・ かんがい用揚水水車の性能評価 (農村工学研究所 廣瀬裕一)
- ・ 山村農家における小水力発電を利用した電力自給 (富山国際大学 上坂博亨)
- ・ - 昔ながらの田園風景 - 地域の力で水車が復活 (新野水車の会 生田良昭)
- ・ 日本古来の水車による発電と地域活性化 (京都府南丹広域振興局 辻大地)

平成27年度農業農村工学会大会(平成27年9月1日)

「岡山藩の土地改良における水土の知」

- ・ 江戸時代の新田開発における岡山藩の特徴 (農村工学研究所 廣瀬裕一、後藤眞宏 九州沖縄農研センター 島武男)
- ・ 近世岡山の農業遺構の特徴 (岡山大学名誉教授 馬場俊介)
- ・ 田原井堰および田原用水の歴史的意義 (和気町歴史民俗資料館 森元純一)
- ・ 沖新田干拓地の水管理(番水)から学び継承すべきこと (農村工学研究所 樽屋啓之)

平成28年度農業農村工学会大会(平成28年8月31日)

「仙台藩の地域づくりにおける水土の知」

- ・ 仙台藩の「水土の知」 - 大崎耕土を中心に - (NPO 法人あぐりねっと21 加藤徹)
- ・ 元禄潜穴と品井沼干拓にみる「水土の知」の源流 (宇都宮大学 田村孝浩)
- ・ 大堰と内川の歴史的価値について (大崎土地改良区 青木幹)

平成29年度農業農村工学会大会(平成29年8月30日)

「相模地域の地域づくりにおける水土の知 復興と地域創生の観点から」

- ・ 富士山噴火による酒匂川流域の災害と復興 - 田中休愚の事績を中心に -  
(神奈川県立秦野首屋高等学校 関口康弘)
- ・ 報徳仕法の地域創生 - 相州片岡村・克讓社仕法 (平塚市博物館 早田旅人)

平成30年度農業農村工学会大会(平成30年9月5日)

「京都の地域づくりにおける水土の知 千年の持続と独自の近代を支えた水」

- ・ 「千年の都」京都の<水土> (京都大学大学院地球環境学堂 渡邊紹裕)
- ・ 琵琶湖疎水の開削と京都の近代化 (京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 小野芳朗)

令和元年度農業農村工学会大会(令和元年9月5日)

「江戸・東京を支えた坂東地域の 水土の知」

- ・ 江戸のまちづくり計画が遺した武蔵東部低地の水ネットワーク  
(認定NPO法人 水のフォルム 理事長 藤原梯子)
- ・ 「道路山水」に見る武蔵野の開発 (水土文化研究部会 広瀬伸)

令和2年度農業農村工学会大会(令和2年8月：講演要旨集掲載のみ)

「九州における水土の知 農業水利施設の これまでとこれから」

- ・ 世界かんがい施設遺産~幸野溝・百太郎溝水路群~  
(幸野溝土地改良区：富田道孝、百太郎溝土地改良区：市田秀樹、京都大学大学院農学研究科：濱 武英)
- ・ 世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域 (高千穂土地改良区：田崎耕平)
- ・ 水土文化を育む川原園井堰用水の事例紹介 (串良町土地改良区：新町浩)

令和3年度農業農村工学会大会(令和3年8月：講演要旨集掲載のみ)

「安積原野における明治期の文明開化を背景とした伝統と近代の 水土の知 」

- ・ 安積疏水(猪苗代湖疏水とは)  
(日本大学工学部土木工学科：知野泰明)
- ・ 安積疏水事業の実施背景と実施過程(農研機構農村工学研究部門：芦田敏文)
- ・ 学校教育における水力発電所の教材化について 地域の教育資源としての「安積疏水」と沼上発電所」 (福島大学理工学群共生システム理工学類：岡田 努)
- ・ 安積疏水の現状と歴史的価値(安積疏水土地改良区：根本和俊)

令和4年度農業農村工学会大会(令和4年8月31日)

「加賀藩領の農業水利システムの特徴」

- ・ 近代および現代における取水堰合口の工学的意義  
(農業農村工学会：中 達雄)
- ・ 手取川の農業水利システムの特徴と変遷(石川県立大学生物資源環境学部：瀧本裕士)
- ・ 現場から見た七ヶ用水の特徴と今後の課題(手取川七ヶ用水土地改良区：北野 祐二)
- ・ 庄川水系の農業用水の歴史(庄川沿岸用水土地改良区：松岡 樹)

## **学会誌**

学会誌講座

水土文化への誘い 12回